

自ら考え、表現できる子どもの育成をめざして

今年度は、昨年度から始めてきた「読む・書く・話す・聞く」の言語力向上のための活動をさらに日常的に継続し習慣化を目指すとともに、授業において、「導入」の工夫をし、「まとめ」「振り返り」の時間の確保や再構築の時間の充実を図ることで「表現する力」をつけていきたいと考え授業改善に取り組んでいます。

☆2年国語科『読んだらバッチリ！おもちゃの作り方せつめいしょ』

生活科『うごくうごく わたしのおもちゃ』の学習でおもちゃ作りをし、1年生を招待する『おもちゃランド』の計画をしている2年生。それと、並行して国語科で1年生に分かりやすいおもちゃの作り方の説明書を作る学習をしています。

まずは、自分の説明を友達に話します。始めはうまく説明できなくても何度もくり返すうちにだんだん上手く話せるようになってきます。1年生に分かるように話したら、書いていきます。

どれくらいの大ささなのかわかりにくいから、くわしくしたらどう？



カップの「ふち」って1年生には、わからんな。何て言ったらいいかな。

- ◎順序を表すことば
- ◎くわしくすることば
- ◎気をつけること・アドバイスなどに気をつけて工程が分かるように書いていきます。



☆体験学習いろいろ・・・。



1年アサガオの種取り



3年 大根の間引き



4年 裏山観察



5年 稲刈り



6年 平和学習



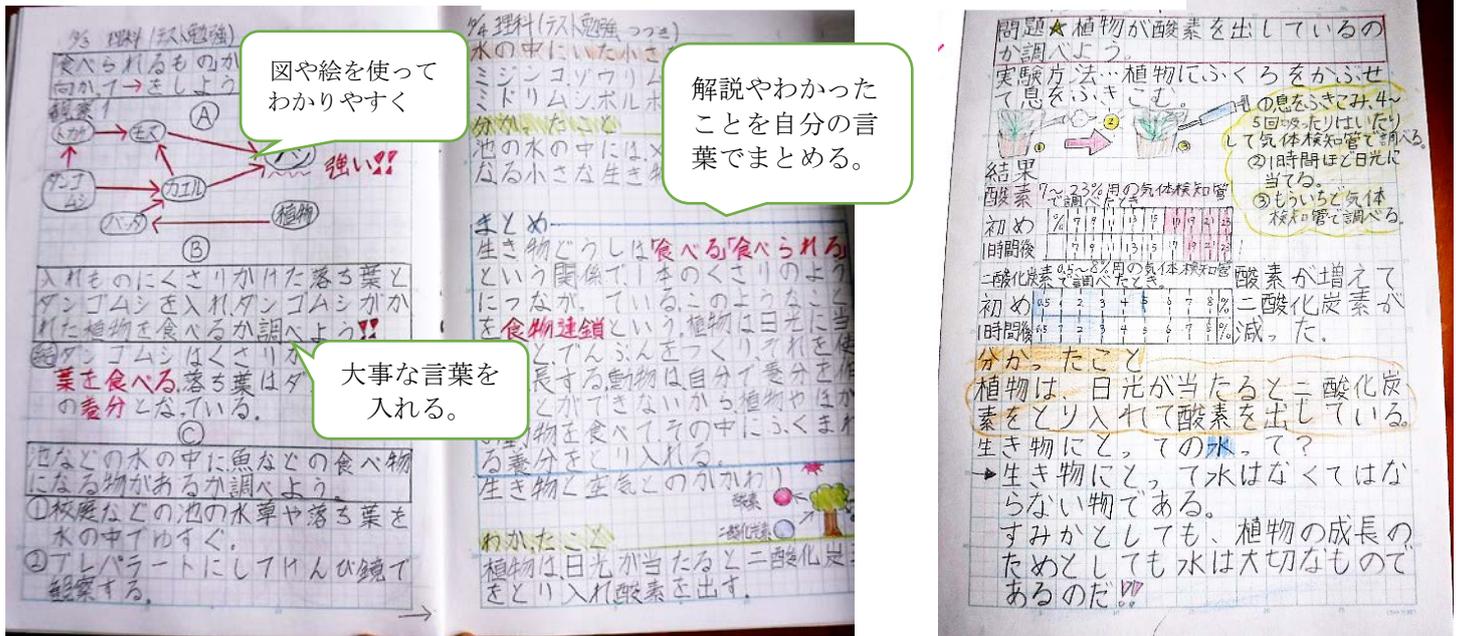
子どもが自分で考え計画する力

今年度より、新学習指導要領が本格実施となりました。その中で生涯にわたって学習する基盤を培う「学びに向かう力 人間性等」の大切さがあげられます。

子ども自身がより良くなるために自分自身の学習を見直し、改善していく力。このような力をつけていくためには、学校での授業とともに家庭での学習習慣の定着が欠かせません。そこで、多賀中学校区の取組として、11月16日から22日まで（多賀中定期テスト前）を『家庭学習がんばろうウィーク』として宿題や自主勉強を計画的に行う強化週間にする予定です。ご家庭でもお声かけなどご協力お願いいたします。（後日お便り配布）

☆自主勉強ノートの紹介

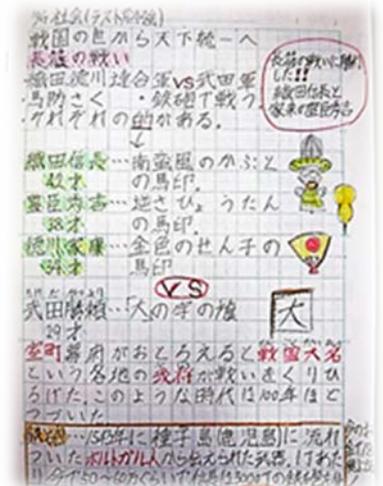
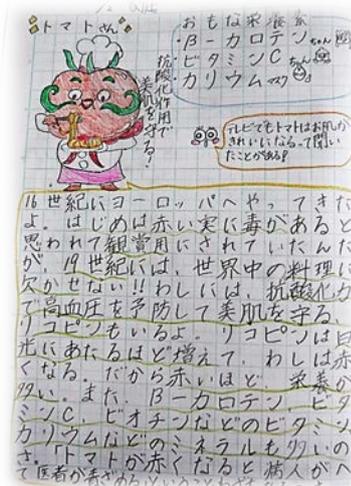
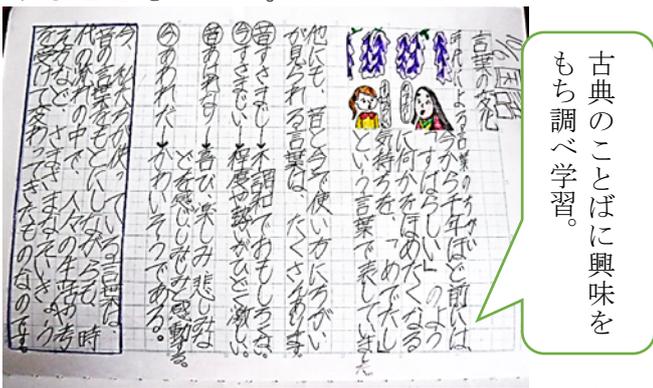
※テスト勉強としてポイントをまとめて復習



※本や参考書などの図書資料や新聞などで調べたことをもとに自主学習し知識を広げることも・・・。

※その他 自主勉強いろいろ
家庭科

社会科



多賀小には、子ども新聞が読めるコーナーがあります。新聞を読みその要約や感想を書くこともおすすめです。



低学年はまず、家庭学習に丁寧に取り組み、学習習慣を確立することが大切です。中・高学年は、自分自身の学習を振り返り、苦手なもの、授業で習ったことで練習の必要なもの、復習、予習など計画的に学習を積み重ねることが大切です。自分自身で学習する力は簡単に身につくものではありません。『継続は力なり』です。